

【資料2】 市民意向のまとめ (詳細は参考資料2)

◆現郷陽会館について

○多目的ホールの充実

- ・ステージの拡大 (奥行、舞台袖)
- ・間仕切り用電動設備の導入

○低利用スペースの有効活用

- ・中庭を開放し天気の良い日は中庭でも遊べるような屋内外のしつらえ
- ・フロムナード (ギャラリーの外側) スペースの有効利用を検討
- ・中庭 (竹林) などのスペースも有効利用を検討

○設備・備品の充実

- ・空調の強化
- ・白色LEDへの入替と暗さの改善
- ・コンセントの増設と容量確保
- ・プロジェクター、電動スクリーンの導入
- ・展示パネル、有孔ボード、長テーブル、演題掲示板の充実
- ・トイレの洋室トイレへの改修

○貸館利用のしやすさ

- ・申請の簡略化

○利用しやすい設備の強化

- ・フリーWi-Fi
- ・わかりやすい案内サイン
- ・備品倉庫 (イベント時のテーブルや椅子)

◆屋内型子どもの遊び場について

○子どもが遊びたくなる場所(体を動かせる場所、屋内遊具、五感を刺激する施設、ふれあいの場等)の整備

- ・体を動かせる施設 (軽い運動ができる、トランポリン、鉄棒、ボルダリング、卓球など)
- ・屋内遊具 (大型遊戯施設、すべり台、バランスボール、ボールプール、積み木、サーキット・ブラレール等の遊び場、ネット遊具、キャラクターや色鮮やかな遊具など)
- ・五感を刺激する施設 (制作・工作・アートワークショップのスペース、科学に基づいた体験型学習、セグウェイ・VRなどの先端技術、壁に物語の場面を描く、砂場など)
- ・子どもたちが能動的に楽しめる、子どもの創造性や自発性を育む遊び場、シアタールーム
- ・ふれあい・交流 (仲間と協力して楽しめる遊びを提供)

○子育て層が安心できる居場所と環境づくり

- ・親子や、親同士が交流できる場を提供
- ・子どもの遊び場が見える休憩や交流のスペースを設ける (カフェ展開含む)
- ・親や祖父母が気軽に相談できるブースを設置
- ・子育ての大変さ、便利情報や、保護者同士の情報交換等ができる場を提供
- ・保護者同士が助け合える取組み (子育てグッズのフリーマーケットや物々交換など)
- ・おもちゃ病院、おもちゃの図書館、おもちゃの交換の取組導入
- ・3Rユース等を踏まえた地域交流イベントの実施
- ・子どもを預けられる保育施設を整備
- ・育児や放課後の子どもの世話をサポートするフリースクールや学童保育、一時預かり場
- ・トイレに授乳室やおむつ交換場所を充実させる、子どもトイレの設置
- ・イベント時に便利な、移動式の授乳・おむつ替えステント
- ・子どもが遊ぶ床を暖かくしたり、安全なマットを敷く
- ・安全な遊び場
- ・市民が自由に出入り出来る休憩室や談話室

○多様な利用者ニーズの共存が可能な環境づくり

- ・乳児・幼児エリアを分けて遊べる場所
- ・年齢や発達に応じて遊び場を柔軟に利用できる仕組み
- ・様々な層 (年齢、静的・動的空間) が時間を分けて遊べる工夫

○若者の賑わいや多世代交流の促進

- ・子どもの遊び場としてだけでなく、学生の探究活動の場を整備
- ・多世代が交流したくなる場所づくり

○大規模遊具施設整備型かフレキシブル利用型か

- ・子どもの遊び場を常設、集客の目玉となる施設が必要
- ・固定した壁や設備を避け、必要に応じてスペースを変更できるように

◆市民活動拠点 (NPOセンター機能)について

○NPOセンター機能の充実

- ・1階にNPOを支援する団体の事務所 (相談業務や受付のカウンター) を設置

○多様な市民団体等の活動や交流を支える環境の充実

- ・おしゃれなコワーキングスペースの確保 (市民や団体が交流できる場所として活用)
- ・充実した会議室、夜間や休日に急な打合せができる専用スペースを整備
- ・ホワイトボードやモニターなどの設備の充実、利活用可能な備品・データの共有化
- ・セルフ式カフェスペース

○市民活動団体の活動を支援する団体固有スペースの確保

- ・NPOセンターに必要な団体の固有スペース (書類保管場所など) を提供 (※公園内施設として検討・調整が必要)

○適切な施設利用料金

- ・無料化や安価な利用料金設定
- ・入場料の有料化 (収益を次世代の遊び場施設等に活用)
- ・主催者で清掃ができる仕組みづくり (必要負担軽減)

○活動団体が利用しやすい運営の工夫

- ・開閉館時間をフレキシブルに運営できる指定管理受託者が必要
- ・朝の利用時間を8時ごろからに変更希望
- ・市民活動団体に無理な収益活動を要請しない

◆施設全体の整備や相互連携について

○使いやすい駐車場の充実

- ・駐車場台数の増大 (ピーク時対応、公園等スペースの活用、集客と活用の両面を考慮した規模拡充)
- ・入出庫のしやすさの改善
- ・駐車場から入口までの屋根付き通路の設置
- ・無料時間の拡大や無料化
- ・長時間利用の抑制 (負担増)
- ・子育て世代の親への駐車料金の減免措置の導入

○ユニバーサルデザイン

- ・車いす障がい者や全盲の方でも利用しやすく、交流したくなる設備
- ・歩道の段差整備など、ベビーカーや小さいお子さんが移動しやすい環境整備

○安心・安全な施設づくり

- ・監視カメラの設置

○屋外イベントへの対応強化

- ・キッチンカー設置スペースの確保
- ・屋外イベントスペースの確保
- ・電源・炊飯場等の増強
- ・キッチンカーやミニマルシェの出店

○搬出入のしやすさ

- ・車の乗り入れの緩和
- ・屋根のない入口 (高さの確保)

○利用しやすい仕組みづくり

- ・午前と午後に分かれての人数制限 (事前予約制など)
- ・公共施設予約システムの構築

○多様な利用者の拡大に資するサポート体制の強化

- ・コーディネータの配置が必要 (専門的アドバイスや新たなニーズへの対応など)
- ・利用者と指定管理者の直接的な話し合いを可能にする仕組みづくり
- ・多様で自由度の高い施設を目指し、柔軟なルール設定を重視
- ・子どもたちにとって安全な状態を維持するための連絡体制づくり
- ・おむつやベビーカーのクーポンや無料配布など、子育て家庭に優しいサービスの提供

◆地域特性を活かした取組みの工夫や周辺施設連携について

○地域特性を活かした周辺施設と連携した集客・滞留の促進

- ・鯖江市の名産・特産品をアピールするコーナーや展示施設の整備
- ・レジャーパンダの生活や眼鏡、漆器の動画紹介や、体験学習・創作イベント開催
- ・高い天井など広い空間を活かした立体的な遊び場や空間整備
- ・周辺類似施設との役割分担の明確化
- ・体操協会やスポーツ協会と連携した、二体操教室の開催
- ・桜、紅葉、銀杏などの木を植える
- ・西山公園のつつまじりなど連携した、体験イベントの開催
- ・西山周辺ゾーンとの連携した、歩いて散策できる環境整備
- ・Yプラザ内のキッズスペースとの重複機能の調整 (適切な公民分担)
- ・コンポストによる落ち葉等のたい肥化と体感学習イベント実施
- ・会館利用者につづバス・福武線運賃の一部を補助

○円滑な計画策定

- ・市民と行政の信頼関係を毀損しないよう、合意形成に配慮